

公安委員会における委員の意見を受けた県警察の対応

公安委員会における主な意見

- ① 改めて全職員の倫理観をかん養されたい
本人の倫理観に問題がある
- ② 2人で鑑定する必要はないのか
段階ごとのダブルチェックを検討されたい
- ③ 鑑定資料の取扱いをより厳格にされたい
組織の業務管理の問題である
管理監督の在り方が問われる事案である
- ④ 科捜研の体制強化を早急に検討されたい
- ⑤ 他県の科捜研との人事交流を検討されたい
- ⑥ 調査体制を構築し、しっかり調査されたい
調査の方針や調査状況について、公安委員会に定期的に説明し、
指示を踏まえて対応されたい
動機もしっかり調査されたい
公判への影響は及ばないものと判断したこともしっかりと説明
されたい
- ⑦ 調査結果や処分内容については、県民に対してしっかり説明されたい
- ⑧ 本人の処分は厳正に実施されたい

県警察の主な対応

再発防止策

- ① 職員の倫理観のかん養
- ② 鑑定作業のチェック機能の強化
担当上司が立ち会い複数の目でチェック
- ③ 決裁時における確認の厳格化
- ④ 科捜研の体制強化
- ⑤ 職員教養の充実
- ⑥ 外部からの指導
- ⑦ 県警内にプロジェクトチームを立ち上げ、
動機を含めた徹底した調査を行うとともに、
検察庁にも確認を依頼
- ⑧ 公表時、報道機関に対し、調査等による
判明事項を詳細に説明
- ⑨ 当該職員を懲戒免職処分